

第4次福岡県男女共同参画計画 施策体系案

福岡県の特徴・課題

- ・人口増は続いているが、高齢化が進み、労働力人口の割合が減少している。男女の人口構成は、全国的には50代から女性比率が高くなっているが、福岡県は20代から女性の数が男性を上回っている。
- ・固定的性別役割分担への反対派は増えているが、社会の様々な場面で男性が優遇されていると感じている人が多く、男女の不平等感は依然として強い。男性の長時間労働が改善しない中、実際には家事・育児の負担は女性に偏っている。
- ・経済界主導で企業における女性の活躍推進に向けた活動が活発に行われている。しかし、管理職など各界の女性リーダーは10%前後にとどまっており、リーダーとなることに女性側の抵抗感も強い。
- ・防災・防犯、高齢者や子育ての支援など地域課題の解決に向け、男女が自治会などの地域コミュニティ活動に積極的に参画していくことが求められている。
- ・DV被害の警察の認知件数は増加傾向。性犯罪の被害発生率が全国ワースト2位。

ポテンシャルを活かし、課題を解決するための各種施策を実施し、目指す姿へ

最終的には一つの文章にまとめる

目指す姿

- ・男女がともに個性と能力を発揮できる豊かで活力ある社会
- ・仕事と生活の両立を実現し、女性がいきいきと働き活躍できる社会
- ・男女の人権が尊重され、安心して暮らすことができる社会

目標1 働く場における女性の活躍促進

成果指標

- ・事業所管理職に占める女性の割合
13.9% → 16%以上
- ・県管理職に占める女性の割合
8% → 検討中
- ・就業に関する指標を検討中

《施策の方向性》

- 1-1 雇用の場における男女共同参画の推進
 - (1) 企業等における女性の登用推進
 - (2) 県・市町村における女性職員の登用推進
 - ① 女性の就業継続促進と男女の均等な雇用及び待遇の確保
 - ② ワーク・ライフ・バランスの推進
- 1-2 女性の就業の促進
 - (1) 女性の再就職の支援
 - (2) 女性の起業の促進

目標2 地域・社会活動における女性の活躍促進

成果指標

- ・自治会長における女性の割合
8.1% → 12%以上
- ・市町村審議会等委員に占める女性の割合
29.1% → 40%

《施策の方向性》

- 2-1 地域における男女共同参画の推進
 - (1) 男女で担う自治会・町内会などの地域活動の推進
 - (2) 防災・災害復興における男女共同参画の推進
 - (3) 市町村の取組への支援
 - (4) 県・市町村の審議会等における女性登用の推進
- 2-2 女性の活躍による地域の活性化
 - (1) 地域振興（地域おこし、まちづくり）における女性の参画促進
 - (2) 農林水産業における女性の参画促進
 - (3) 商工自営業における女性の参画促進

目標3 誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現

成果指標

- ・DV計画部会で検討した指標を用いる予定

《施策の方向性》

- 3-1 配偶者からの暴力防止及び被害者支援
 - …内容はDV計画と合わせます。
- 3-2 性犯罪等の防止及び被害者支援
- 3-3 困難を抱える女性等への支援
 - (1) 母子家庭の母などひとり親家庭への支援
 - (2) 高齢女性への施策の推進
 - (3) 障害のある女性への施策の推進
 - (4) 同和地区の女性への施策の推進
 - (5) 外国人女性への施策の推進
- 3-4 生涯を通じた男女の健康支援
 - (1) 性差とライフステージに応じた健康支援
 - (2) 妊娠・出産等に関する健康支援
 - (3) 女性のスポーツ活動の推進

目標4 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革・教育の推進

成果指標

- ・性別役割分担意識を容認しない人の割合
51.1% → 過半数を維持向上
- ・家事を自分・パートナー同程度に行っていると回答する人の割合
18.1% → 23%以上

《施策の方向性》

- 4-1 意識改革のための啓発推進
- 4-2 男性にとっての男女共同参画の推進
- 4-3 教育における男女共同参画の推進
 - (1) 男女平等を推進する教育の実施と教職員等への理解促進
 - (2) 男女共同参画の視点に立ったキャリア教育・進路指導